

## 第4学年1組 国語科学習指導案

指導者 担任  
司書教諭  
学校司書

1 単元名 「広告と説明書を読みくらべよう」(東京書籍 4年)

2 単元の目標

- ・目的に合わせた表し方の違いに興味をもち、文章を読み比べようとしている。【感心・意欲・態度】
- ◎表現の仕方や工夫を比較しながら読み、広告と説明書の違いについて読み取る。【読むこと】
- ・調べて考えたことを互いに読み合い、一人一人の感じ方の違いに気づいている。【読むこと】
  - ・身の回りの文章について、目的と表し方の結びつきを明確にして書く。【書くこと】
  - ・広告と説明書のそれぞれの文章において、語句の役割や文の組み立てについて理解している。  
【言語についての知識・理解・技能】

3 本単元に関わる情報リテラシー(松江市小中一貫基本カリキュラム「学び方指導体系表」による)

- ・広告や説明書を読み取る【G】
- ・思考ツールの利用【K】

4 単元設定の意図

(省略)

5 単元の評価規準

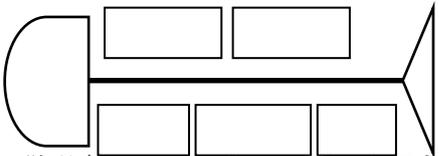
国語への 関心・意欲・態度	読むこと	書くこと	言語についての 知識・理解・技能
・目的に合わせた表し方の違いに興味をもち、文章を読み比べようとしている。	・表現の仕方や工夫を比較しながら読み、広告と説明書の違いについて読み取っている。 ・調べて考えたことを互いに読み合い、一人一人の感じ方の違いに気づいている。	・身の回りの文章について、目的と表し方の結びつきを明確にして書いている。	・広告と説明書のそれぞれの文章において、語句の役割や文の組み立てについて理解している。

6 単元の指導計画と支援・評価（全8時間）

次	時	主な活動	支援 (◎担任 ◆司書教諭 ◇司書)	【評価規準】 (方法)
一つかむ	1	学習の見通しを立てる。	◇身の回りにある広告や説明書を準備する。 ◎児童の興味を引くような様々な種類の広告や説明書を提示し、学習意欲を高める。 ◎「目的に合わせた表現の違いを読み取る」というめあてを明確に示す。	【関】目的に合わせた表し方の違いに興味をもち、意欲的に文章を読み比べようとしている。(発言・観察)
二 追求する	2	広告と説明書が、それぞれどのようなものか理解する。	◎広告と説明書の役割と、目的に応じた表し方の工夫があるということについて読み取るためのワークシートを準備する。	【読】広告と説明書の役割などを確かめ、表し方の違いがあることを読み取っている。(発言・ワークシート)
	3	広告と説明書を、観点に沿って読み比べ、それぞれの表し方を読み取り、その違いをまとめる。	◎広告と説明書を読み比べて、それぞれの特徴を考えるための5つの観点を示す。 【観点】 書かれている事柄 言葉の使い方や説明の仕方 写真や絵の使い方 色の使い方 順序やレイアウト	【読】見出し語や詳細、図や絵と文などの関連を考え、広告や説明書の特徴を読み取っている。(発言・ワークシート)
	4 5 (本時)		◆読み取ったことをまとめるためのボーン図を提案する。	【読】目的に応じた表現の違いを読み取っている。(発言・ワークシート) 【言】広告と説明書のそれぞれの文章において、語句の役割や文の組み立てについて理解している。(発言・ワークシート)
三 深める	6 7	身の回りにある実用的な文章を集め、目的に合わせた表し方の違いや工夫を調べる。	◇身の回りにある広告や説明書を準備する。 ◎準備された物の中から支援を要する児童用の文章を選び、活動のヒントを用意する。	【読】身の回りの文章について、目的に合わせた表し方を見つけ、表現の工夫や違いを読み取っている。(ワークシート)
四 伝え合う	8	身の回りにある実用的な文章についての考えを伝え合い、情報や感想を交流する。	◎見つけた内容のよさ、発表の仕方のよさを見つけ、児童に伝える。	【書】身の回りの文章について、目的と表し方の結びつきを明確にして書いている。(ワークシート)

7 本時の学習

- (1) 本時の目標 広告と説明書の目的に応じた表現の違いについてまとめる。
- (2) 本時の情報リテラシー **【K】** 思考ツールを利用する (ボーン図)
- (3) 展開 (本時 5 / 8)

学習内容と予想される児童の意欲や活動	支援と手立て (◎担任 ◆司書教諭 ◇司書) <b>【評価】 (方法)</b>
1 本時の学習課題を知る。 広告と説明書の違いについてまとめよう。	◎前時までに、観点ごとに広告と説明書を比べてきたことを振り返り、本時では、「広告は、…」、「説明書は、…」とまとめることを知らせる。
めあて・自分が書くときのために ~広告と説明書についてまとめておこう!~	
2 広告についてボーン図に整理する。	<p>◆ワークシート (ボーン図)、前時までに書いた観点別のカードの掲示用を用意し、作業手順を示し、確認しながら進める。</p> <p>◆ボーン図の枠のみを提示し、ボーン図の仕組が理解できるようにする。</p> <p>◎頭と骨それぞれに観点を入れていき、読み取る項目を整理していく。</p> <p>◎同様に進めればよいことを伝え、机間指導(◎◆)する。</p> <p>◎ワークシートを使い、まとめさせる。</p> <p>広告は、□のために□。</p> <p>説明書は、□のために□。</p> <div style="border: 1px dotted black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【読】</b> 目的が大切であることが分かり、目的によって表現が変わることを理解している。(ワークシート・類)</p> </div> <p>◎出来上がったボーン図を比べ、目的が最も大切であること、観点は同じでも、その内容が目的によって変わることを確認する。</p>
	
3 説明書についてボーン図に整理する。	
4 広告・説明書とは、どのようなものか、自分の考えを書く。	
5 書いたものを発表する。	
6 本時をふりかえる。	

(4) 本時の評価

	十分満足できると判断される児童の具体例	概ね満足できると判断される児童の具体例	支援を要する児童への支援の手立て
読む力	目的が大切であることが分かり、目的によって表現が変わることをまとめて書いている。	目的と、目的によって表現が変わることを整理して書いている。	ワークシートにボーン図の中のどの部分を書けばよいか示す。

(5) 授業の視点

- ・ボーン図を使って整理したことは、目的の重要性を意識させたり、それぞれの特徴を整理したりするために有効であったか。